

「宮崎県の防災フェア」に出展

～クイズに答えて津波のリスクや早期避難の重要性を考える～

日本損害保険協会九州支部宮崎損保会(会長：米本 真也 損害保険ジャパン株式会社 宮崎支店長)では、3月5日(日)において開催された宮崎県主催の「いつかのための、いつもの備え!! in イオンモール宮崎」にブースを出展しました。

本イベントは、「より多くの人に防災への自助・共助の備えや早期避難の重要性について、興味関心を持ってもらうこと」を目的としています。

宮崎県は南海トラフ地震による被害を受ける可能性が高いことから、宮崎市の津波ハザードマップを使用して、来場者の皆さまにご自宅の場所の津波リスクについて確認を行っていただきました。

宮崎市に大きな津波被害を発生させたとされる「外所(とんところ)地震」や昨年10月には、日向灘を震源とする地震で震度5弱の揺れに見舞われたこともあり、地震や津波に対する来場者の皆さまの関心は高く、当会の出展ブースへ多くの方に立ち寄っていただき、改めてお住まいの立地の津波リスクを確認いただきました。

当ブースでは、津波浸水地域に住宅がある方に対して、南海トラフ地震の津波リスクをご説明し、「揺れは小さくても1分以上続く場合には、津波が来る可能性、迷わず避難」の文章を完成いただくクイズにお答えいただくなど、早期避難の重要性や、地震リスクへの備えの必要性に関する理解をより一層深めていただきました。

九州支部では、今後も行政や関係団体と連携し、自然災害リスクを的確に認識いただき、必要かつ十分な風水害や地震に備える保険に関して普及・啓発活動を行っていきます。



<来場者が居住地を示した津波ハザードマップ>



<損保協会の出展ブースでの啓発>



<宮崎県作成チラシ>